

科目名 (科目番号)	病理学Ⅱ (時間割参照)	教員名	野口雅之 他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	3
				曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
				授業形態	講義	オフィスアワー	非常勤講師	
授業概要	疾病の原因と病態の解明や治療の効果の有無を明らかにすることを目的とする病理学は、臨床の基礎であり臨床検査などの手技やその意義を学ぶためには必ず学ばなければならない重要な学問である。病理学Ⅱは病理各論として臓器系統別に心臓疾患から、呼吸器、消化器等の諸臓器、および小児特有の代表的な疾患を解説し、症例を見ることにより疾患の概要を把握する。							
目的・目標	目的:病理学Ⅰで学んだことを基礎とし、病理学各論として臓器系統別に具体的に学ぶことで臨床検査技師として必要な疾患についての知識を得る 目標:各臓器系統の基本的な仕組み・機能を理解し、それが異常になった時に起こる種々の疾患について主なものの病態を理解できるようになる。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	循環器の病理	到達目標:心臓、血管の主な疾患を理解する 学習内容:心臓、血管の主な疾患					
	2	呼吸器の病理(1)	到達目標:上気道、下気道(気管/肺)、胸膜、縦隔の主な疾患を理解する 学習内容:上気道、下気道、胸膜、縦隔の主な疾患					
	3	呼吸器の病理(2)	到達目標:上気道、下気道(気管/肺)、胸膜、縦隔の主な疾患を理解する 学習内容:上気道、下気道、胸膜、縦隔の主な疾患					
	4	消化器の病理(1)	到達目標:消化管、肝臓・胆道・膵臓の主な疾患を理解する 学習内容:消化管、肝臓・胆道・膵臓の主な疾患					
	5	消化器の病理(2)	到達目標:消化管、肝臓・胆道・膵臓の主な疾患を理解する 学習内容:消化管、肝臓・胆道・膵臓の主な疾患					
	6	内分泌系の病理	到達目標:内分泌系臓器(副腎、甲状腺等)の主な疾患を理解する 学習内容:内分泌系臓器の主な疾患					
	7	造血系の病理	到達目標:造血器・血液系の主な疾患を理解する 学習内容:白血病やリンパ腫を含む造血器・血液系の主な疾患					
	8	泌尿器系の病理	到達目標:腎臓、尿路(腎盂・膀胱)の主な疾患を理解する 学習内容:腎臓、尿路の主な疾患					
	9	生殖器の病理(1)	到達目標:女性生殖器、乳腺、妊娠関連の主な疾患を理解する 学習内容:女性生殖器、乳腺、妊娠関連の主な疾患					
	10	生殖器の病理(2)	到達目標:男性生殖器(精巣・精巣上体、前立腺)の主な疾患を理解する 学習内容:男性生殖器の主な疾患					
	11	運動器の病理	到達目標:運動器(骨、軟骨、関節、筋および軟部組織)の主な疾患を理解する 学習内容:運動器の主な疾患					
	12	皮膚の病理	到達目標:主要な皮膚疾患について理解する 学習内容:主要な皮膚疾患					
	13	小児病理	到達目標:小児独特の疾患(先天性疾患、小児腫瘍を含む)の主要なものを理解する 学習内容:小児独特の疾患の主要					
	14	脳・神経系の病理(1)	到達目標:中枢神経系(脳・脊髄)および末梢神経の主な疾患を理解する 学習内容:中枢神経系および末梢神経の主な疾患					
15	脳・神経系の病理(2)	到達目標:中枢神経系(脳・脊髄)および末梢神経の主な疾患を理解する 学習内容:中枢神経系および末梢神経の主な疾患						
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)(オンライン時・対面時共通)							
教科書	スタンダード病理学			沢辺元司、長坂徹郎、梶原博毅		文光堂		
参考図書	標準病理学 ロビンス基礎病理学(原書8版)			坂本穆彦・北川昌伸・仁木利郎 Vinay Kumarら、豊國伸哉ら訳		医学書院 丸善出版		
教員からのメッセージ	講義は筑波大学をはじめ幾つかの病院に勤務する病理医が交代で担当します。このため、講義の順番が入れ替わる可能性があります。授業開始時期に通知するので確認してください。							